

木更津市立小中学校  
適正規模及び適正配置実施計画

平成29年2月

木更津市教育委員会

## はじめに

全国的な人口減少、少子高齢化時代の中、本市では、東京湾アクアラインの開通による対岸地域への近接性や大型商業施設の開業などの効果もあって、人口が増加してまいりました。

特に、大規模な宅地開発が進んでいる新興住宅地では、子育て世代を中心に人口が増加し、児童生徒数の急増による過密な状況下の学校がある一方で、少子高齢化が進む地域もあり、2つ以上の学年を1つに編制する複式学級への移行など、地域間で学校規模の格差が生じています。

そのため、教育委員会では、学校間の教育水準の均衡を保持し、より良い教育環境を整備するため、平成21年3月に「木更津市立小中学校適正規模等審議会」へ「木更津市立小学校及び中学校の適正規模及び本市域における適正配置のあり方に関する事項について」諮問し、平成23年2月に審議会から答申がありました。

この答申を受け、平成23年10月に小学校・中学校の適正規模及び適正配置を推進し、より良い教育環境の整備・充実を図るための「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定し、基本方針に沿った取り組みとして、平成26年4月には本市の小学校としては、33年ぶりとなる真舟小学校を開校し、児童数が急増した地域における小学校の適正規模及び適正配置を実施いたしました。

このような中、平成27年1月に国の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が策定されたことなどから、更なる小中学校の適正規模及び適正配置を進めるため、基本方針において、「児童生徒数の推移を見ながら、統合を含めて対応を検討する」とされておりました小学校2校、中学校2校の今後について、本計画を策定いたしました。

教育委員会では、次代を担う子どもたちの将来を希望あふれるものにするため、より良い学校教育環境の提供に取り組んでまいります。

平成29年2月

木更津市教育委員会

## 目 次

1. 学校適正規模及び適正配置実施計画の策定の目的 . . . . .	1
2. 実施の時期 . . . . .	1
3. 適正配置実施の対象校 . . . . .	1
(1) 小学校	
(2) 中学校	
4. 適正配置の進め方 . . . . .	1
(1) 住民説明会の開催	
(2) 統合準備会の設置	
(3) 校舎等の跡地活用	
5. 対象校の児童生徒数の推移 . . . . .	2
(1) 東清小学校	
(2) 富岡小学校	
(3) 中郷中学校	
(4) 岩根西中学校	
6. 統合へのスケジュール . . . . .	6
7. 統合の方法について . . . . .	7

## 1. 学校適正規模及び適正配置実施計画の策定の目的

木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（以下「基本方針」という。）に基づき、計画的に学校の適正配置を進めるため、木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画（以下「実施計画」という。）を策定します。

## 2. 実施の時期

実施の時期は、平成28年度から平成31年度までの4年間とします。

## 3. 適正配置実施の対象校

基本方針で児童生徒数の推移を見ながら統合を含めて対応を検討すると定めている次の小規模校を適正配置実施の対象校とします。

- (1) 小学校 東清小学校、富岡小学校
- (2) 中学校 中郷中学校、岩根西中学校

## 4. 適正配置の進め方

対象校のうち、「複式学級が生じた」あるいは「複式学級が生じる懸念がある」学校について、次の事項に留意し、統合を実施することとします。

### (1) 住民説明会の開催

統合にあたっては、対象校の保護者や地域住民等への説明会を開催し、理解と協力を得て進めます。

### (2) 統合準備会の設置

統合にあたっては、「(仮称) 統合準備会」を設置し、円滑な統合に向けた準備を行います。

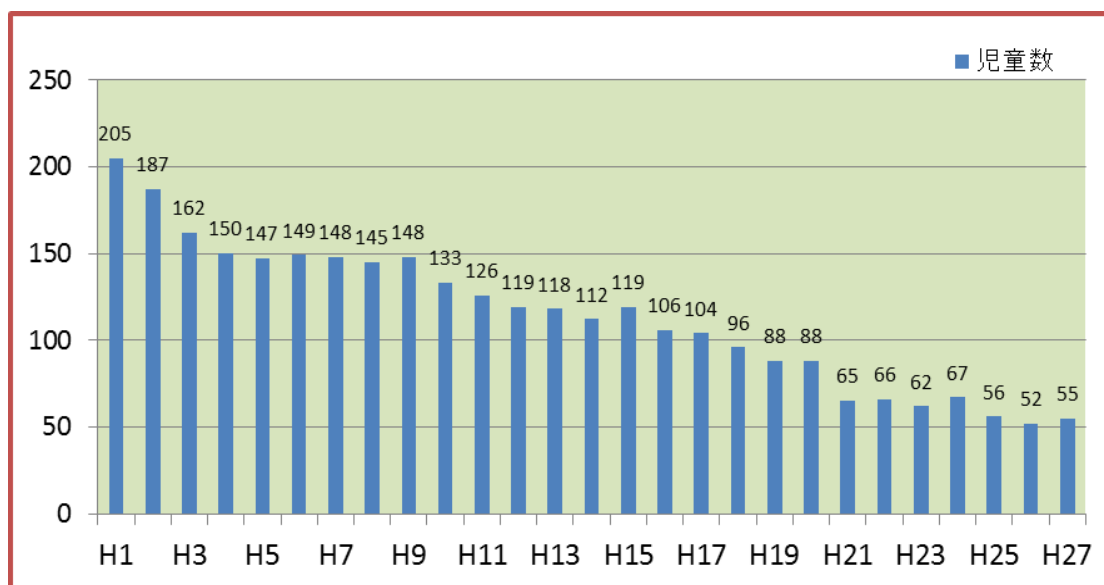
### (3) 校舎等の跡地活用

学校の統合によって生じる空き校舎等の学校施設は、保護者や地域住民のニーズ等を踏まえ、幅広い視点で有効活用を検討します。

5. 対象校の児童生徒数の推移

(1) 東清小学校

①これまでの児童数の推移

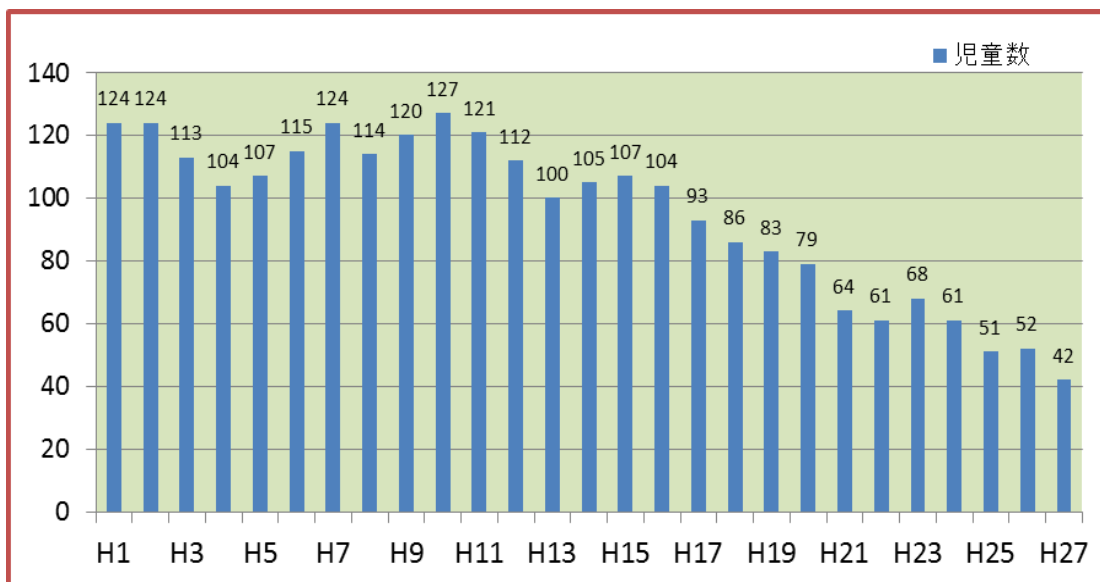


②将来の児童数の見込み

年度 区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1年生	11	10	7	9	2	6
2年生	11	11	10	7	9	2
3年生	6	11	11	10	7	9
4年生	4	6	11	11	10	7
5年生	14	4	6	11	11	10
6年生	7	14	4	6	11	11
合計	53	56	49	54	50	45

(2) 富岡小学校

①これまでの児童数の推移



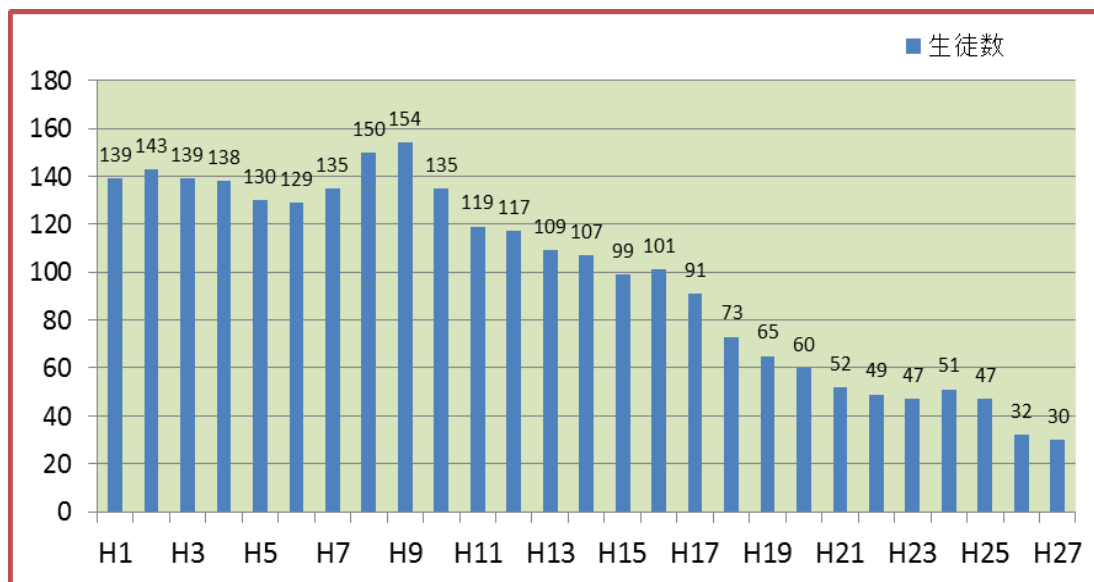
②将来の児童数の見込み

年度 区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1年生	6	8	2	3	7	7
2年生	1	6	8	2	3	7
3年生	6	1	6	8	2	3
4年生	5	6	1	6	8	2
5年生	5	5	6	1	6	8
6年生	13	5	5	6	1	6
合計	36	31	28	26	27	33

平成31年度には、複式学級が3学級になる見込みです。

## (3) 中郷中学校

## ①これまでの生徒数の推移



## ②将来の生徒数の見込み

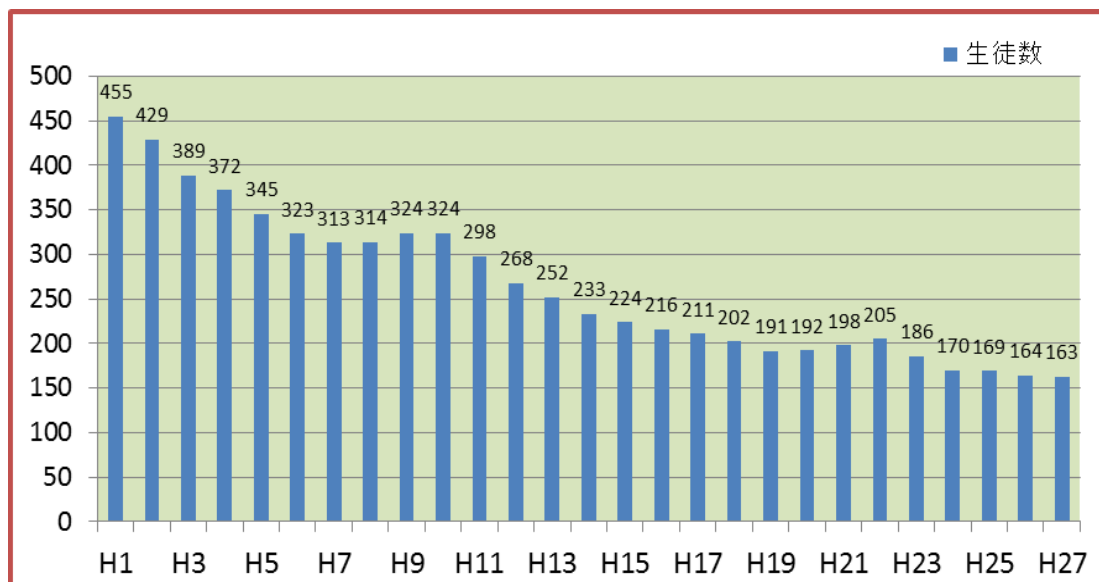
年度区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1年生	3	17	14	6	7	7
2年生	17	3	17	14	6	7
3年生	2	17	3	17	14	8
合計	22	37	34	37	27	22

平成26年度新入生が、中郷小学校卒業生10名のうち2名、平成28年度新入生が、同じく17名のうち3名（小規模特認校制度活用で1名）でした。

平成29年度以降も同様の事態になる可能性があり、平成31年度以降は、中郷小学校の卒業生が10名以下になるため、更なる減少が懸念されます。

## (4) 岩根西中学校

## ①これまでの生徒数の推移



## ②将来の生徒数の見込み

年度 区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1年生	69	62	64	51	50	50
2年生	58	67	62	64	51	50
3年生	43	56	67	62	64	51
合計	170	185	193	177	165	151

※) 将来の児童数と生徒数の見込みは平成28年5月1日現在の住民基本台帳による推計



## 6. 統合へのスケジュール

年度 学校名	28年度	29年度	30年度	31年度
東清小学校	統合の検討 児童数の推移を 注視	統合の検討 児童数の推移を 注視	統合の検討 児童数の推移を 注視	統合の検討 児童数の推移を 注視
富岡小学校	学校、地域への 説明	(仮称)統合準備会 の設置・開催 住民説明会の開催	年度末をもって 統合	—
中郷中学校	学校、地域への 説明	(仮称)統合準備会 の設置・開催 住民説明会の開催 (統合の実施)	年度末をもって 統合	—
岩根西中学校	統合の検討 生徒数の推移を 注視	統合の検討 生徒数の推移を 注視	統合の検討 生徒数の推移を 注視	統合の検討 生徒数の推移を 注視

7. 統合の方法について

(1) 中郷中学校については、清川中学校と統合します。

平成30年度末をもって統合としますが、平成29年度入学者が5名以下で、1，2年生が複式学級となり、特別支援学級を含め、全校で3学級が維持できない場合は、平成29年度末統合とします。

(2) 富岡小学校については、馬來田小学校と統合します。

平成30年度末をもって統合とします。

なお、統合準備を進める中で、小中一貫校への移行の検討を行います。



木更津市教育委員会 教育部学校教育課  
〒292-8501

千葉県木更津市朝日3-10-19

電話：0438-23-5247